

学校の教育目標「自らとりくみ 輝く佐見の子」



校報

さ み

キラリ

佐見小学校ホームページ <http://samisyo.town.shirakawa.gifu.jp>

白川町立佐見小学校

校長 佐伯 好洋

平成29年度 校報

10月号 (No.7)

実りの秋を迎えて

校長 佐伯 好洋

今回は9月28日の尾城山登山の報告を書くつもりでしたが、あいにくの天候で延期となってしまいました。10月2日の予備日に実施できることを期待しています。

さて、2学期始まり実りの秋を迎えました。朝晩の涼しさに心地よさとともに秋の訪れを感じています。11日には、今井博文さん、笹俣昭明さんに多大な支援をいただきながら、5・6年生で稲刈りを行いました。5月に全校児童で田植えを行い、約4か月を経てたくさんのもち米が実りました。子どもや職員の手数が少なく、刈りきれないところや脱穀は佐俣さんに機械で助けていただきました。今年は193kgの収穫ができました。このもち米は10月28日の「佐見っ子まつり」で餅をついて子どもたちや保護者・地域の皆様と一緒に味わう予定です。是非たくさんの方にご参加いただきたいと思います。



また、18日に延期となったものの、台風一過のさわやかな天候のもと小中合同運動会を実施することができました。小規模であっても集団づくりを大切にしたいとの願いから、小学校では昨年度からどの学年も団体種目のみにしました。

どれも熱戦が繰り広げられ、たくさんの方の応援を送っていただきました。

今年の目玉は一輪車演技「佐見輪ピック2017」でした。元世界チャンピオンの小山先生に2回の指導を受け、その成果を学年ごとの技で披露しました。少しの失敗はあったかもしれませんが、練習の成果を十分発揮できていました。高学年は中学生を手本にしながら、大夢さん、朱那さんを中心に下学年をしっかりとリードする姿が輝いていました。このような子どもの姿にも実りを感じます。

さらに保育園種目や親子競技、祖父母競技、佐見音頭では、家族に限らず本当に多くの方のみなさんに参加のご協力をいただき、盛り上げていただきました。佐見の地域が一体となった運動会にできたと感じた一日でした。

「食とことばの力で子どもを元気に！」～食の大切さを考える講演会～

10月21日(土)に町民会館で福田泰三先生(佐世保市立広田小学校教諭)による「健口教育」の講演会があります。福田先生は、学校現場で食育や弁当の日の実践に積極的に取り組んでいらっしゃる方です。佐見小学校で取り組んでいる「弁当の日」の活動をより充実させるヒントが得られるかもしれません。参加者には「味噌玉」のお土産もあるそうです。講演の詳細や申込方法は、別紙チラシをご覧ください。入場無料、当日の飛び入り参加もできるそうです。